



Wilhelm·Conrad·Röntgen
 ヴィルヘルム・コンラート・レントゲン
 1895年 X線発見

放射線だより

2022年8月
 No. 15 (隔月発行)
 担当：馬場俊明

from Radiation House

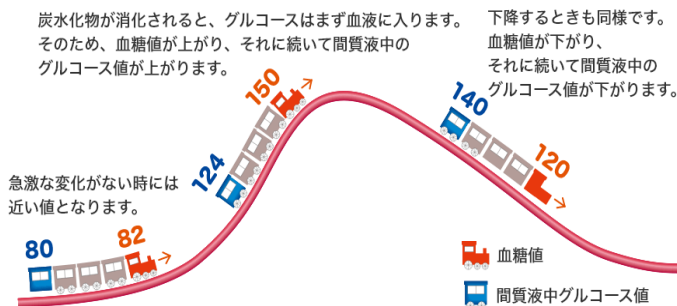
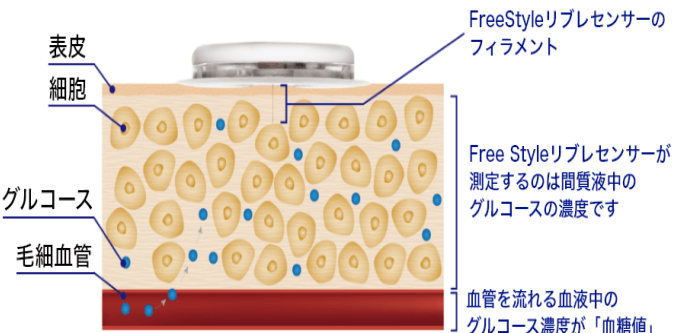
令和3年度放射線医療安全講習でお知らせしましたがMRI検査に影響を及ぼす医療機器として持続グルコース測定器やインスリンポンプ、尿道カテーテルのDIBキャップなどがありますが、今回はFreeStyleリブレセンサーについて話をさせていただきます。



FreeStyleリブレは血糖の推移や変動パターンを簡単に知ることができるグルコース測定器です。センサーは上腕後部に装着し小型で薄く耐水性にも優れていて入浴も可能です。最長14日間の装着期間中、グルコース値を毎分測定し15分毎に保存しスマートフォンでも管理できます。目立たないため、そのまま服をきることができ使い捨てタイプのアプリケーションで簡単に装着できますが一度脱着してしまうと再利用はできなくなってしまいます。

グルコース値と血糖値の違い

血糖値と間質液中のグルコース値のイメージ



注) 血糖値と間質液中のグルコース値の違いには個人差があります。

MRI検査を受ける時はFreeStyleリブレは外していただいておりますが納得されない患者様もいらっしゃいます。MRI検査依頼時にはペースメーカー等の体内金属の確認をされていると思いますが一緒にリブレの確認をしていただき患者様に予めお伝えしていれば検査当日のトラブルは回避できると思われまます。リブレは最長で14日間の使用となりますので交換のタイミングで検査を依頼していただくと問題も起こりにくくなるとおもわれまますのでご理解とご協力を願います。今後は同意書や問診票の記入に関しての改善、検討して安全に検査が実施できる環境を作っていきたいと考えておりますので、ご不明な点があればMRI検査室までご連絡下さい。宜しくお願いします。文責：勝負

一般撮影室3番が新しくなりました！



立位台

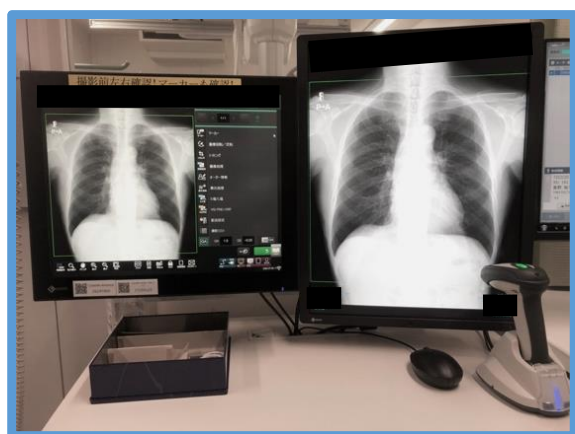
RadSpeed Pro/Calneo Flowシステム
島津製作所/富士フィルムメディカル

パネルと管球が追従するため、感染症の患者様でも必要最小限の接触で撮影することができます。



臥位台

RadSpeed Pro/Calneo Flowシステム
島津製作所/富士フィルムメディカル



モニタ

以前よりも画質が良くなりました。

コンソール

各撮影ごとの撮影条件、管球の距離・角度・照射野などが設定されており、ボタン一つで自動で管球が動くため、撮影時間が短縮されました。



以前よりも細かいところまで画像に写るようになったため、金属やプラスチックだけでなく、厚手のニットやTシャツのプリントなども写ってしまいます。撮影の際はなるべく薄着で来るようにご協力をお願い致します。

(文責：加藤)